

# 平成25年度 学校法人 今川学園 事業計画書

## 1、法人の概要

- ①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】
- ②住所：大阪府松原市天美北3-10-18  
電話番号 072-337-1580  
ファックス 07-336-3843  
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>
- ③設置する学校：木の実幼稚園  
定員480名  
実員347名 (平成24年度 352名)
- ④理事長氏名：今川公平  
\*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催
- ⑤教職員の状況  
木の実幼稚園：教員 26名 職員6名 (内 育児休暇教員1名)  
平成25年度新規採用者3名  
平成24年度 退職者3名

## 2、平成25年度 木の実幼稚園の概要

### ①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成25年	幼稚園児実員347名		
	3歳児	5クラス	111名	前年度111名
	4歳児	5クラス	114名	前年度128名
	5歳児	5クラス	123名	前年度113名
		未就園児クラス	38名	前年度 40名
		総合計	385名	前年度392名

### ②教育目標及び方針

#### 【教育目標】

#### a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこととも思いやる事が出来る。

#### b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

#### 【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作りに上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかり見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

◇保育のモットー「誉めて育てる～誉める時は大きな声で、叱る時は小さな声で」 「子ども一人一人をしっかりうけいれよ」

#### ③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40  
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

#### ④保育料及び諸経費

- 保育料：1, 2年保育～26,400円/月 3年保育～27,400円/月  
～共に給食費4,400円を含む新保育料となる。
- バス協力費：4,000円/月

#### ⑤入園時の費用

- 入園料：1, 2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費：20,000円

## ⑥預かり保育

- 月～金曜日：13：40～17：00
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

## ⑦行事の実施状況

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地蔵祭り、夏季保育、宿泊保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、入園説明会
- 10月／運動会、参観日
- 11月／秋の遠足
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園説明会
- 3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

## ⑧主な事業の目的・計画

- ・園舎東棟 2教室全面改装工事を夏に実施する。合わせて、ナースリークラスの備品を新しい物に全面入れ替えを行う。
- ・ホール（遊戯室）のエアコン入れ替え工事を夏に行う。旧型4台を撤去し、最新のエコタイプ3台に入れ替える。
- ・「丁寧な保育」＝「どの子どもにもわかりやすく」「保育者から伝えることは確実に」「子どもから聞くことはゆとりを持って」「子ども一人一人の学びを確かめる」「丁寧な話し方、言葉遣い」「丁寧な物の扱い」を一層全教員上げて充実させる。
- ・新しい保育環境を生かす保育を全教員が目指す。新しい保育室、新しい園庭環境の意味を理解し、日常の保育に全教員が生かしていく。
- ・広報体制・内容の見直しを行う。ホームページ・入園パンフレットの全面改定。特にブログページを充実させ、日常保育の情報発信を一層充実させる。また園からのペーパーによるお知らせについては、配布時期を見直し、わかりやすく、早く通知が行えるように改善する。